

令和3年度 第2回
県立高校将来構想検討協議会

～今後の県立高校の在り方について～

参考資料

日 時 令和3年7月12日（月）
午後3時～午後5時
場 所 共用第2会議室（県庁4階）

山口県教育委員会

目 次

【「めざすべき県立高校像」に関する参考資料】

(第1回県立高校将来構想検討協議会において示した資料の再掲)

本県の中学校卒業生数と公立高等学校全日制課程の入学定員・学校数の推移	1
中学校卒業生の進路状況の推移	2
今後の中学校卒業見込者数	3
今後の地域別中学校卒業見込者数	3
高等学校等所在地図（令和3年度募集）	4
公立高等学校入学定員（令和3年度）	5
公立高等学校等の地域別・学科別にみる学校配置（令和3年度募集）	6
公立高等学校等の地域別・募集学級数別にみる学校配置（令和3年度募集）	7
これまでの特色ある学校づくりの取組	8
これまでの再編整備の状況	9
市町立中学校2・3年生の公立高校の学科別希望状況及び入学定員（全日制課程）	10
市町立中学校2・3年生の進路希望調査集計結果	11
公立高等学校等卒業生の学科別進路状況（全日制課程）	12
県外流出の状況	13

【「教育活動の充実・教育環境の充実」に関する参考資料】

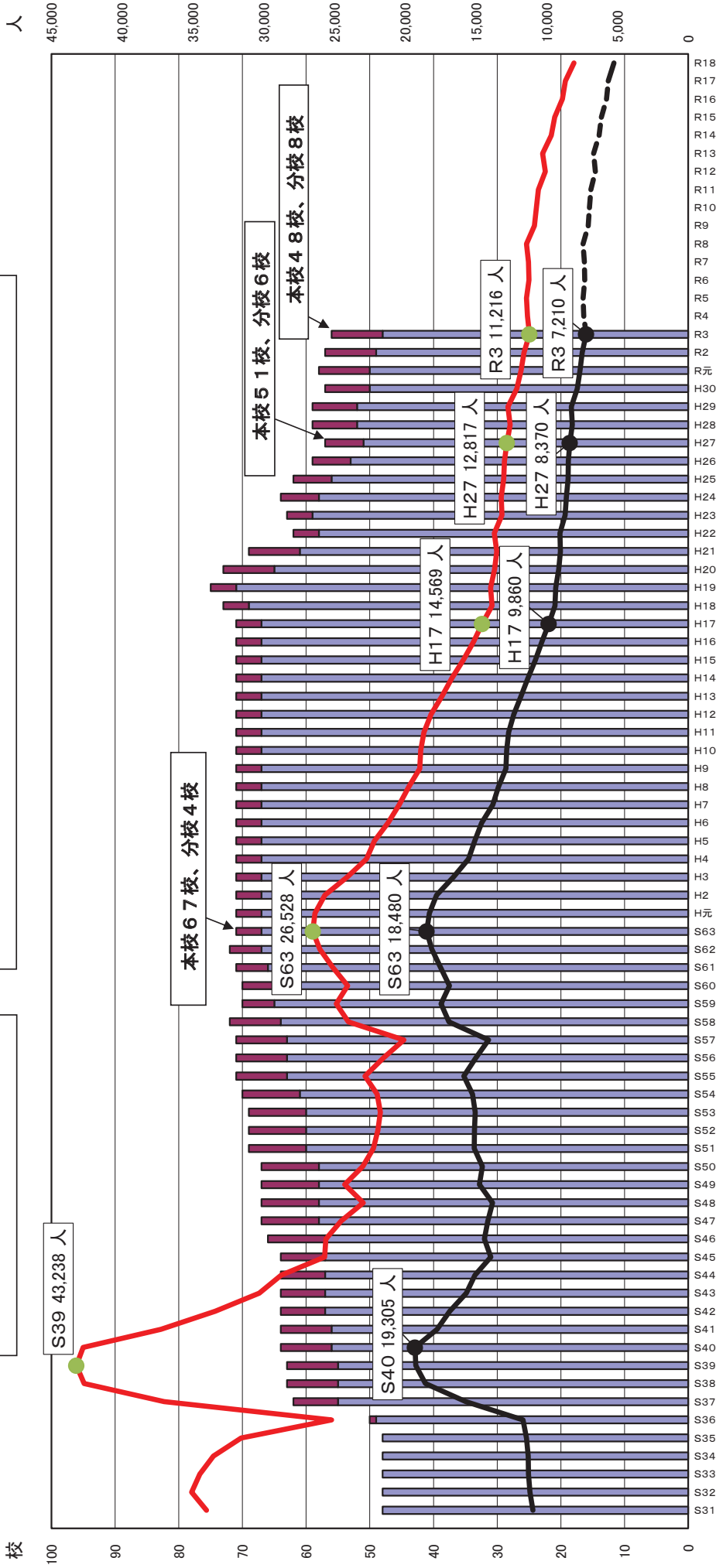
山口県の生徒指導上の諸問題について	15
コミュニティ・スクールについて	16
やまぐちスマートスクール構想の推進について	19
山口県特別支援推進計画（2018～2022年度 高等学校関係抜粋）	21
令和3年度県立高等学校等における「通級による指導」実施について	22
山口県立学校施設長寿命化計画の概要	23
教職員の人材育成に向けた基本方針について	25

「めざすべき県立高校像」に関する参考資料
(第1回県立高校将来構想検討協議会において示した資料の再掲)

■ 本県の中学校卒業生数と公立高等学校全日制課程の入学定員・学校数の推移

分校数
 本校数
 前年度中学校卒業生数
 入学定員

* 1 「前年度中学校卒業生数」のうち、令和12年度までは学校基本調査による。
 また、令和13年度以降は住民基本台帳（令和3年5月1日）による。
 * 2 令和4年度以降の「入学定員」は、令和4年度における「前年度中学校卒業生」
 に対する「入学定員」の割合を用いて推計したものである。



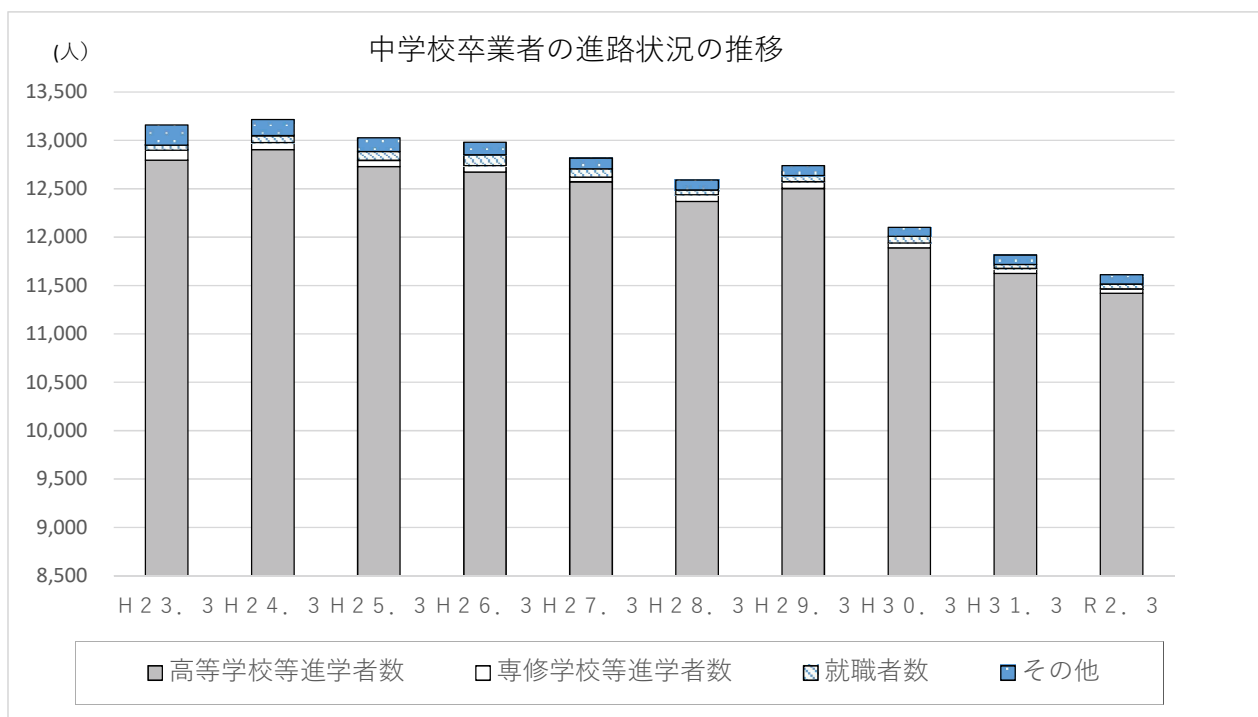
年 度	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3	R8	R13	R18
前年度中学校卒業生数	31,593	42,764	25,696	23,002	22,839	24,069	25,683	20,419	18,172	14,569	13,695	12,817	11,611	11,216	11,431	10,283	8,073
全日制課程の入学定員	11,435	19,305	13,950	14,545	15,855	16,875	17,775	13,805	12,325	9,860	9,070	8,370	7,485	7,210			
学校数 (本校+分校)	48+0	56+8	57+7	58+9	63+8	65+5	67+4	67+4	67+4	67+4	58+4	51+6	49+8	48+8			

■ 中学校卒業者の進路状況の推移

学校基本調査から

	H23. 3	H24. 3	H25. 3	H26. 3	H27. 3	H28. 3	H29. 3	H30. 3	H31. 3	R2. 3
中学校卒業生数	13,160	13,215	13,030	12,985	12,817	12,590	12,738	12,102	11,815	11,611
(全国)	1,176,923	1,195,204	1,185,054	1,192,990	1,174,529	1,169,415	1,160,267	1,133,016	1,112,083	1,087,468
高等学校等進学者数	12,797	12,905	12,729	12,674	12,572	12,367	12,503	11,888	11,624	11,419
割合	97.2%	97.7%	97.7%	97.6%	98.1%	98.2%	98.2%	98.2%	98.4%	98.3%
(全国の割合)	98.2%	98.3%	98.4%	98.4%	98.5%	98.7%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%
専修学校等進学者数	100	72	65	65	48	70	69	52	51	47
割合	0.8%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%
(全国の割合)	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
就職者数	55	71	91	111	85	49	64	70	42	47
割合	0.4%	0.5%	0.7%	0.9%	0.7%	0.4%	0.5%	0.6%	0.4%	0.4%
(全国の割合)	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
その他	207	166	142	132	112	104	102	92	97	98
割合	1.6%	1.3%	1.1%	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
(全国の割合)	1.0%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%

※ 高等学校等進学者数とは、高等学校の全日制、定時制、通信制、中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部へ進学したもの(進学と同時に就職したものを含む)

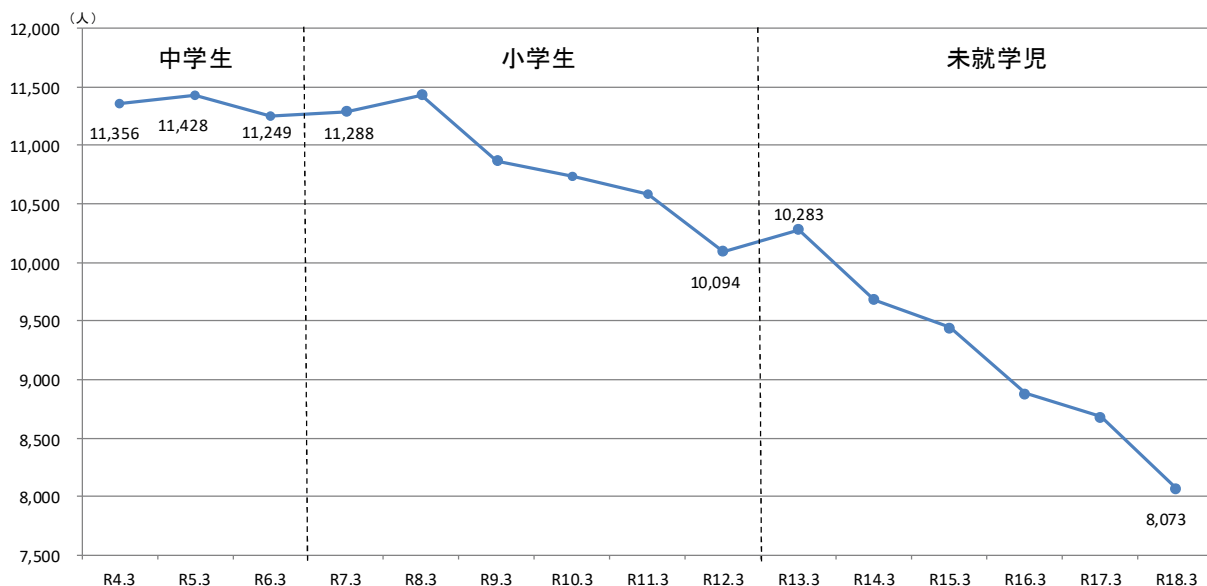


■ 今後の中学校卒業見込者数

R3.5.1現在 高校教育課調べ

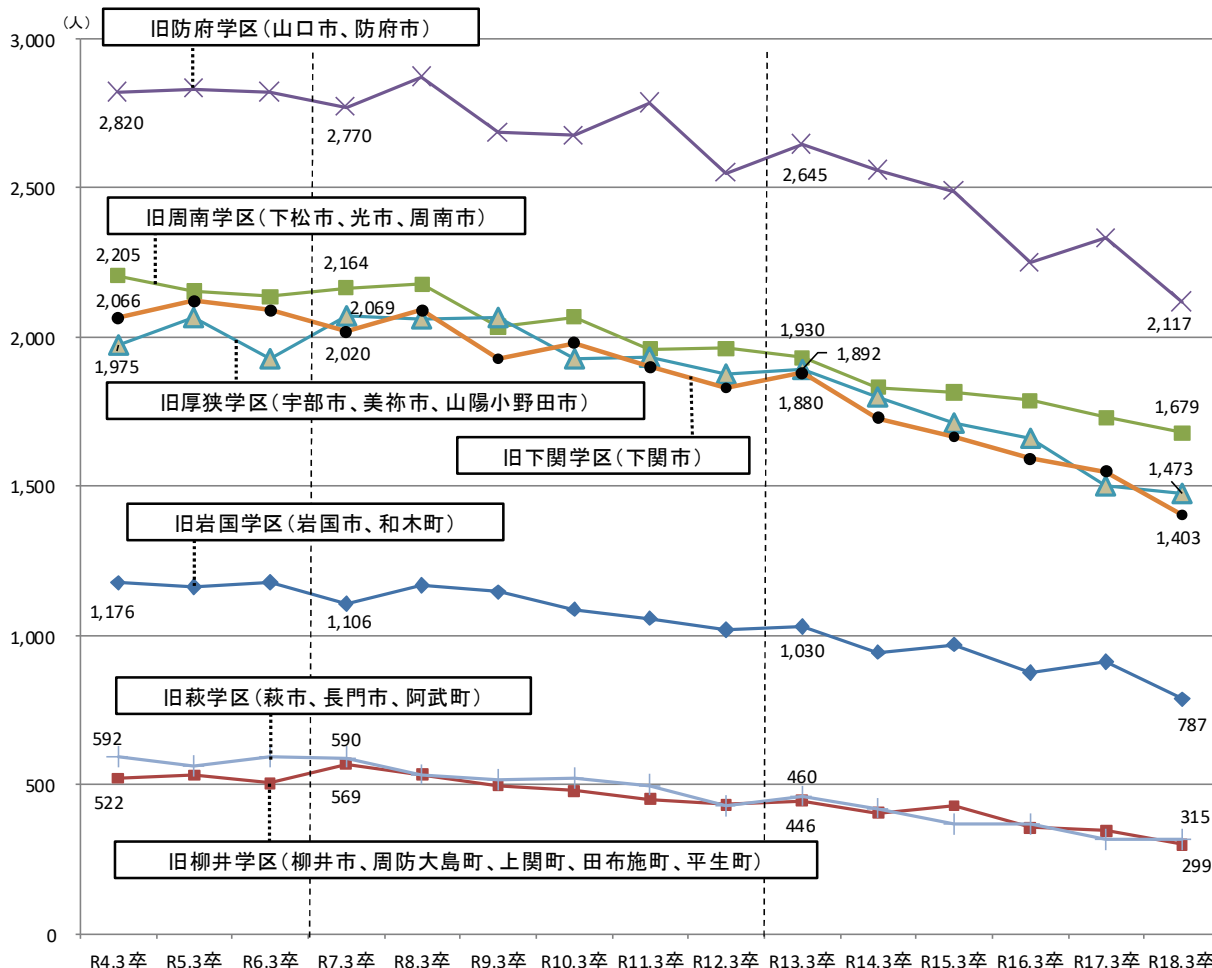
卒業年月	R4.3	R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3	R16.3	R17.3	R18.3
項目	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児
県内合計	11,356	11,428	11,249	11,288	11,431	10,867	10,735	10,581	10,094	10,283	9,684	9,441	8,883	8,682	8,073
前年度比	140	72	-179	39	143	-564	-132	-154	-487	189	-599	-243	-558	-201	-609
累積	140	212	33	72	215	-349	-481	-635	-1,122	-933	-1,532	-1,775	-2,333	-2,534	-3,143

※ 特別支援学校は含まない。



■ 今後の地域別中学校卒業見込者数

R3.5.1現在 高校教育課調べ



高等学校等所在地図(令和3年度募集)

▲県立高校 ▼市立高校 ■私立高校 ●県立中等教育学校



■ 公立高等学校入学定員(令和3年度)

全 日 制

学校名	学 科	定 員	増減
周 防 大 島	普 通	60	
	地 域 創 生	30	
岩 国	普 通	200	
	理 数	40	
坂 上 分 校	普 通	30	
広 瀬 分 校	普 通	25	
岩 国 総 合	総 合 学 科	90	△15
高 森	普 通	90	
		(注1)	
岩 国 商 業	総 合 ビジネス	60	
	国 際 情 報	30	
岩 国 工 業	機 械	40	
	電 気	35	
	都 市 工 学	35	
	シ ス テ ム 化 学	40	
柳 井	普 通	140	
柳 井 商 工	ビ ジ ネ ス 情 報	60	
	機 械	30	
	建 築 ・ 電 子	30	
熊 毛 南	普 通	90	
田 布 施 農 工	生 物 生 産	30	
	食 品 科 学	30	
	都 市 緑 地	30	
	機 械 制 御	30	
光	普 通	160	
	総 合 学 科	80	
下 松	普 通	160	
華 陵	普 通	80	
	英 語	40	
下 松 工 業	シ ス テ ム 機 械	40	
	電 子 機 械	40	
	情 報 電 子	40	
	化 学 工 業	40	
熊 毛 北	普 通	30	△5
	ラ イ フ デ ザ イ ン	30	
徳 山	普 通	240	
	理 数	40	
徳 山 北 分 校	普 通	—	△30
鹿 野 分 校	普 通	—	△30
新 南 陽	普 通	140	
徳 山 商 工	総 合 ビジネス	40	
	情 報 ビジネス	40	
	機 械	35	△5
	電 子 情 報 技 術	35	△5
	環 境 シ ス テ ム	35	△5
南 陽 工 業	機 械 シ ス テ ム	40	
	電 気	40	
	応 用 化 学	40	

学校名	学 科	定 員	増減
防 府	普 通	220	
	衛 生 看 護	40	
佐 波 分 校	普 通	35	
防 府 西	総 合 学 科	140	
防 府 商 工	商 業	120	
	情 報 処 理	40	
	機 械	80	
山 口	普 通	260	
	理 数	40	
徳 佐 分 校	普 通	35	
山 口 中 央	普 通	180	
西 京	普 通	120	
	〃 体 育 コ ー ス	40	
	総 合 ビジネス	40	
	情 報 処 理	40	
山 口 農 業	生 物 生 産	35	
	食 品 工 学	35	
	生 活 科 学	35	
	環 境 科 学	35	
西 市 分 校	総 合 学 科	40	
宇 部	普 通	160	
	探 究 人 文 社 会 科 学	40	
	探 究 自 然 科 学	40	
		80	(注2)
宇 部 中 央	普 通	120	△30
宇 部 西	総 合 学 科	120	△20
宇 部 商 業	商 業	90	△15
	総 合 情 報	30	△5
宇 部 工 業	機 械	35	△5
	電 子 機 械	35	△5
	電 気	35	△5
	化 学 工 業	35	△5
小 野 田	普 通	160	
厚 狭	普 通	90	
	総 合 家 庭	35	
小 野 田 工 業	機 械	30	△5
	電 子 情 報	30	△5
	化 学 工 業	30	△5
美 祢 青 嶺	普 通	50	
	機 械	25	
	電 気	25	
田 部	普 通	30	△5
	総 合 生 活	30	△5
豊 浦	普 通	175	
長 府	総 合 学 科	125	
下 関 西	普 通	140	△20
	探 究 人 文 社 会 科 学	40	
	探 究 自 然 科 学	40	
		80	(注2)
下 関 南	普 通	130	△10
下 関 北	普 通	90	△15

学校名	学 科	定 員	増減
下 関 工 科	機 械 工 学	70	△10
	電 気 工 学	65	△5
	建 設 工 学	35	△5
	応 用 化 学 工 学	35	
大 津 緑 洋	普 通	90	
	生 物 生 産	25	
	生 活 科 学	25	
	海 洋 技 術	25	
	海 洋 科 学	25	
萩	普 通	100	
	探 究 人 文 社 会 科 学	20	
	探 究 自 然 科 学	20	
		40	(注2)
奈 古 分 校	総 合 学 科	30	
萩 商 工	総 合 ビジネス	30	
	情 報 デ ザ イ ン	30	
	機 械 ・ 土 木	30	
	電 気 ・ 建 築	30	
下 関 商 業	商 業	130	
	情 報 処 理	30	
全 日 制	計	7,210	△275

定 時 制

学校名	学 科	定 員	増減
岩 国 商 業 (東 分 校)	普 通 ・ 昼	40	
	〃 ・ 夜	40	
光	普 通 ・ 夜	40	
下 松 工 業	機 械 ・ 夜	40	
徳 山	普 通 ・ 夜	40	
防 府 商 工	普 通 ・ 夜	40	
山 口	普 通 ・ 夜	40	
宇 部 中 央	普 通 ・ 夜	40	
宇 部 工 業	機 械 ・ 夜	40	
小 野 田	普 通 ・ 夜	40	
厚 狭	商 業 ・ 夜	40	
小 野 田 工 業	機 械 ・ 夜	40	
下 関 双 葉	総 合 学 科 ・ 昼	40	
	〃 ・ 夜	40	
定 時 制	計	560	

通 信 制

学校名	学 科	定 員	増減
山 口	普 通	360	
	衛 生 看 護	40	

(△は減を示す)

注1：高森高校の定員は90人ですが、募集人員は、高森高校と中高一貫教育を実施している高森みどり中学校（1学年50人）からの入学者数を差し引いた人数となります。

注2：宇部高校、下関西高校、萩高校については、人文社会科学科と自然科学科を、探究科として一括して募集（くくり募集）します。

※ 徳山高校徳山北分校、徳山高校鹿野分校については、令和3年度以降、生徒募集は行いません。

■ 公立高等学校等の地域別・学科別にみる学校配置(令和3年度募集)

全日制課程	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩
普通科のみ	高森③ 坂上分校① 広瀬分校①	柳井④ 熊毛南③	下松④ 新南陽④	山口中央⑤ 佐波分校① 徳佐分校①	宇部中央③ 小野田④	豊浦⑤ 下関南④ 下関中等③ 下関北③	
普通科+理数科・英語科・探究科	岩国⑥		徳山⑦ 華陵③	山口⑧	宇部⑥	下関西⑥	萩⑤
普通科+農業科+水産科							大津緑洋⑦
普通科+工業科					美祢青嶺④		
普通科+商業科				西京⑥			
普通科+家庭科			熊毛北②		厚狭④	田部②	
普通科+総合学科			光⑥				
普通科+その他		周防大島③		防府⑦			
総合学科	岩国総合③			防府西④	宇部西③	長府④ 西市分校①	奈古分校①
農業科のみ				山口農業④			
農業科+工業科		田布施農工④					
工業科のみ	岩国工業④		下松工業④ 南陽工業③		宇部工業④ 小野田工業③	下関工科⑥	
工業科+商業科		柳井商工④	徳山商工⑤	防府商工⑥			萩商工④
商業科のみ	岩国商業③				宇部商業④	〔下関商業⑤〕	

①～⑧：学級数

定時制課程	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩
普通科のみ	東分校		徳山 光	防府商工 山口 (山口松風館)	宇部中央 小野田		
総合学科のみ						下関双葉	
工業科のみ			下松工業		宇部工業 小野田工業		
商業科のみ					厚狭		

通信制課程	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩
普通科+衛生看護科				山口			
普通科のみ				(山口松風館)			

※ 山口松風館高校は令和4年4月開校予定
 ※ 下線：山口松風館高校開校に伴う募集停止

■ 公立高等学校等の地域別・募集学級数別にみる学校配置（令和3年度募集）

全日制課程

区分	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩	合計
1学級	坂上分校 広瀬分校			佐波分校 徳佐分校		西市分校	奈古分校	6
2学級			熊毛北			田部		2
3学級	岩国総合 高森 岩国商業	周防大島 熊毛南	華陵 南陽工業		宇部中央 宇部西 小野田工業	下関北 下関中等		12
4学級	岩国工業	柳井 柳井商工 田布施農工	下松 下松工業 新南陽	防府西 山口農業	宇部商業 宇部工業 小野田 厚狭 美祢青嶺	長府 下関南	萩商工	17
5学級			徳山商工	山口中央		豊浦 (下関商業)	萩	5
6学級	岩国		光	防府商工 西京	宇部	下関西 下関工科		7
7学級			徳山	防府			大津緑洋	3
8学級				山口				1
合計	本校	5	5	9	7	9	3	47
	分校	2			2	1	1	6

定時制課程

区分	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩	合計
1学級			光 下松工業 徳山	<u>防府商工</u> <u>山口</u>	宇部中央 <u>宇部工業</u> <u>小野田</u> 厚狭 小野田工業			10
2学級	東分校 (昼夜)					下関双葉 (昼夜)		2
合計	本校		3	2	5	1		11
	分校	1						1

※ 山口松風館高校は令和4年4月開校予定

※ 下線：山口松風館高校開校に伴う募集停止

「県立高校将来構想」（期間：平成17～26年度）、「第2期県立高校将来構想」（期間：平成27～令和6年度）に基づき、これまで再編整備を実施

平成16年度募集

○学校数：67校4分校

○1校当たりの平均学級数：3.83



令和3年度募集

○学校数：46校6分校

○1校当たりの平均学級数：4.33

※ 下関商業を含まない。

■ これまでの特色ある学校づくりの取組

総合学科や全日制単位制高校、中高一貫教育校などの導入、特色ある学科等の設置、教育課程の工夫・改善など。

特色ある学校・学科の設置状況（全日制課程）について

中高一貫	高森（併設型） 周防大島（連携型）			下関中等教育学校
全日制単位制	岩国 宇部中央 下関中等 美祢青嶺 大津緑洋 宇部 山口	熊毛南 萩 高森 豊浦 柳井 光	新南陽 下関南 周防大島 下関西 徳山 防府	
総合学科	宇部西 防府西 西市分校	岩国総合 長府 光	光丘 奈古分校	
学 科	英 語	華陵		
	理 数	岩国	徳山	山口
	地域創生	周防大島		
	探 究	宇部	下関西	萩
専攻科	防府（衛生看護） 周防大島（福祉）		大津緑洋（航海・機関）	
コミュニティ・スクール	全校導入完了（R2年度）			

- **中高一貫教育校**：中学校と高等学校の教育を一貫して行う学校
 - **全日制単位制高校**：学年ごとの進級認定がなく、自分の興味・関心などに応じて学習内容を選択できる学校
 - **総合学科**：普通科と専門学科の両方の内容を幅広く学習できる学科
 - **コミュニティ・スクール**：学校運営協議会を設置した学校
- ※ その他、高大連携、姉妹校等の取組もある。

■ これまでの再編整備の状況

年 度	対 象 校		再編整備の内容	新 高 校		
	学校名	課 程		学校名	課 程	
平成18年度 (2006年度)	柳井商業高校	全日制	再編統合	柳井商工高校	全日制	
	柳井工業高校	全日制				
	徳山商業高校	全日制	再編統合	徳山商工高校	全日制	
	徳山工業高校	全日制				
	萩商業高校	全日制	再編統合	萩商工高校	全日制	
萩工業高校	全日制					
平成19年度 (2007年度)	安下庄高校	全日制	再編統合	周防大島高校	安下庄校舎	全日制
	久賀高校	全日制			久賀校舎	全日制
	大嶺高校	全日制	再編統合	青嶺高校	全日制	
	美祢工業高校	全日制				
平成20年度 (2008年度)	坂上高校	全日制	分校化	岩国高校坂上分校	全日制	
	広瀬高校	全日制	分校化	岩国高校広瀬分校	全日制	
	鹿野高校	全日制	分校化	徳山高校鹿野分校	全日制	
	徳佐高校	全日制	分校化	山口高校徳佐分校	全日制	
	熊毛南高校上関分校	全日制	募集停止			
	田布施農業高校大島分校	全日制	募集停止			
	徳佐高校高俣分校	全日制	募集停止			
奈古高校須佐分校	全日制	募集停止				
平成22年度 (2010年度)	田布施農業高校	全日制	再編統合	田布施農工高校	全日制	
	田布施工業高校	全日制				
平成23年度 (2011年度)	大津高校	全日制	再編統合	大津緑洋高校	大津校舎	全日制
	日置農業高校	全日制			日置校舎	全日制
	水産高校	全日制			水産校舎	全日制
平成24年度 (2012年度)	防府商業高校	全日制・定時制	工業科の設置	防府商工高校	全日制・定時制	
	徳山北高校	全日制	分校化	徳山高校徳山北分校	全日制	
	佐波高校	全日制	分校化	防府高校佐波分校	全日制	
平成25年度 (2013年度)	美祢高校	全日制	再編統合	美祢青嶺高校	全日制	
	青嶺高校	全日制				
平成28年度 (2016年度)	下関中央工業高校	全日制	再編統合	下関工科高校	全日制・定時制	
	下関工業高校	全日制・定時制				
	奈古高校	全日制	分校化	萩高校奈古分校	全日制	
平成30年度 (2018年度)	響高校	全日制	再編統合	下関北高校	全日制	
	豊北高校	全日制				
平成31年度 (2019年度)			新 設	下関双葉高校	定時制	
	西市高校	全日制	分校化	山口農業高校西市分校	全日制	
	下関西高校	定時制	募集停止			
	下関工科高校	定時制	募集停止			
	(市立)下関商業高校	定時制	募集停止			
令和2年度 (2020年度)	光高校	全日制・定時制	再編統合	光高校	全日制・定時制	
	光丘高校	全日制				
令和3年度 (2021年度)	徳山高校徳山北分校	全日制	募集停止			
	徳山高校鹿野分校	全日制	募集停止			

○ 今後の再編整備の予定

年 度	対 象 校		再編整備の内容	新 高 校	
	学校名	課 程		学校名	課 程
令和4年度 (2022年度)			新 設	山口松風館高校	定時制・通信制
	光高校	定時制	募集停止		
	防府商工高校	定時制	募集停止		
	山口高校	定時制・通信制	募集停止		
	宇部工業高校	定時制	募集停止		
	小野田高校	定時制	募集停止		
	厚狭高校	定時制	募集停止		

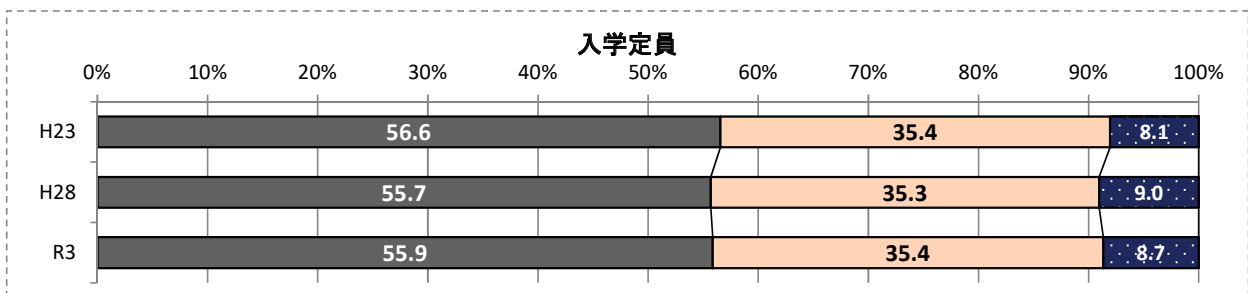
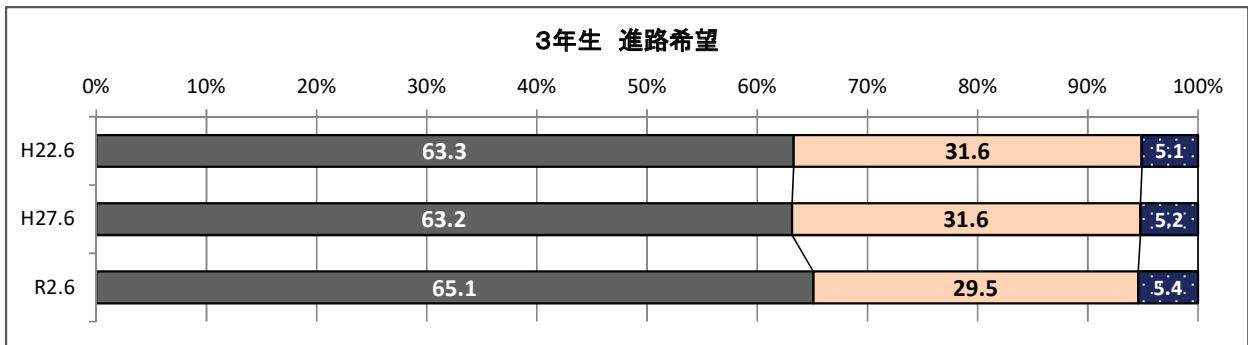
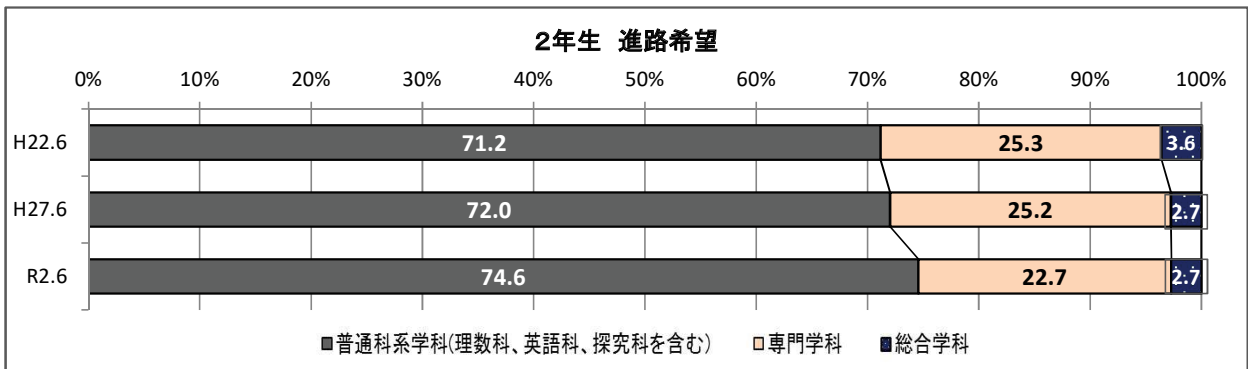
令和3年(2021年)4月現在

■ 市町立中学校2・3年生の公立高校の学科別希望状況及び入学定員(全日制課程)

調査時期	対象学年等	普通科系	専門学科								小計	総合学科	計
			農業	水産	工業	商業	家庭	看護	その他				
H22.6	中学2年生	人数	6,605	164	46	1,120	540	184	220	70	2,344	332	9,281
		%	71.2	1.8	0.5	12.1	5.8	2.0	2.4	0.8	25.3	3.6	100.0
	中学3年生	人数	6,380	224	39	1,552	884	196	184	108	3,187	512	10,079
		%	63.3	2.2	0.4	15.4	8.8	1.9	1.8	1.1	31.6	5.1	100.0
H27.6	中学2年生	人数	6,787	187	71	1,085	529	177	312	18	2,379	258	9,424
		%	72.0	2.0	0.8	11.5	5.6	1.9	3.3	0.2	25.2	2.7	100.0
	中学3年生	人数	6,123	256	50	1,486	838	203	219	16	3,068	504	9,695
		%	63.2	2.6	0.5	15.3	8.6	2.1	2.3	0.2	31.6	5.2	100.0
R2.6	H28入学定員	人数	4,565	345	50	1,360	940	115	40	40	2,890	740	8,195
		%	55.7	4.2	0.6	16.6	11.5	1.4	0.5	0.5	35.3	9.0	100.0
	中学2年生	人数	5,976	128	65	784	420	134	281	9	1,821	216	8,013
		%	74.6	1.6	0.8	9.8	5.2	1.7	3.5	0.1	22.7	2.7	100.0
R2.6	中学3年生	人数	5,433	186	45	1,188	680	143	205	13	2,460	453	8,346
		%	65.1	2.2	0.5	14.2	8.1	1.7	2.5	0.2	29.5	5.4	100.0
	R3入学定員	人数	4,030	280	50	1,250	810	95	40	30	2,555	625	7,210
		%	55.9	3.9	0.7	17.3	11.2	1.3	0.6	0.4	35.4	8.7	100.0

高校教育課調べ

※ 普通科系には、普通科コース、理数科、英語科、探究科を含む。
 ※ その他は、H22.6にあっては福祉科、H27.6及びR2.6にあっては地域創生科である。



■ 市町立中学校2・3年生の進路希望調査集計結果

調査実施時期：R2.6～7

地域	学年	生徒数 (5.1)	調査 回答者数	公立全日制													小計	就職	未定	総計										
				計																										
				普通科系	普通科	普通科コース	理数科	英語科	探究科	農業科	水産科	工業科	商業科	家庭科	看護科	地域創生科					総合学科									
岩国	2年生	1,112	1,087	545	460	23	50	8	4	11	3	120	37	6	32	1	67	822	24	4	21	2	33	6	1	64	127	6	104	1,087
	%		97.8	50.1	42.3	2.1	4.6	0.7	0.4	1.0	0.3	11.0	3.4	0.6	2.9	0.1	6.2	75.6	2.2	0.4	1.9	0.2	3.0	0.6	0.1	5.9	11.7	0.6	9.6	
柳井	3年生	1,095	1,056	491	425	5	48	13	0	12	1	178	63	4	15	1	81	846	17	3	37	5	44	4	2	69	161	3	26	1,056
	%		96.4	46.5	40.2	0.5	4.5	1.2	0.0	1.1	0.1	16.9	6.0	0.4	1.4	0.1	7.7	80.1	1.6	0.3	3.5	0.5	4.2	0.4	0.2	6.5	15.2	0.3	2.5	
周南	2年生	523	485	264	237	9	17	1	0	17	4	48	20	7	8	1	4	373	7	5	10	0	24	1	0	11	46	1	53	485
	%		92.7	54.4	48.9	1.9	3.5	0.2	0.0	3.5	0.8	9.9	4.1	1.4	1.6	0.2	0.8	76.9	1.4	1.0	2.1	0.0	4.9	0.2	0.0	2.3	9.5	0.2	10.9	
防府	3年生	555	532	271	252	8	7	4	0	33	0	75	35	5	5	14	14	443	2	1	25	1	33	3	0	11	73	2	11	532
	%		95.9	50.9	47.4	1.5	1.3	0.8	0.0	6.2	0.0	14.1	6.6	0.9	0.9	0.9	2.6	83.3	0.4	0.2	4.7	0.2	6.2	0.6	0.0	2.1	13.7	0.4	2.1	
厚狭	2年生	2,110	2,030	1,177	1,021	46	71	36	3	24	12	226	65	19	46	3	27	1,599	24	5	32	3	81	12	4	48	180	8	214	2,030
	%		96.2	58.0	50.3	2.3	3.5	1.8	0.1	1.2	0.6	11.1	3.2	0.9	2.3	0.1	1.3	78.8	1.2	0.2	1.6	0.1	4.0	0.6	0.2	2.4	8.9	0.4	10.5	
下関	3年生	1,977	1,895	1,070	978	22	53	14	3	27	8	258	109	21	44	4	71	1,612	14	9	43	7	104	6	2	23	185	12	63	1,895
	%		95.9	56.5	51.6	1.2	2.8	0.7	0.2	1.4	0.4	13.6	5.8	1.1	2.3	0.2	3.7	85.1	0.7	0.5	2.3	0.4	5.5	0.3	0.1	1.2	9.8	0.6	3.3	
萩	2年生	2,499	2,415	1,518	1,344	77	83	7	7	39	7	90	127	31	82	1	55	1,950	25	15	69	2	58	8	5	62	204	18	203	2,415
	%		96.6	62.9	55.7	3.2	3.4	0.3	0.3	1.6	0.3	3.7	5.3	1.3	3.4	0.0	2.3	80.7	1.0	0.6	2.9	0.1	2.4	0.3	0.2	2.6	8.4	0.7	8.4	
下関	3年生	2,453	2,375	1,394	1,323	39	27	3	2	79	7	144	178	36	75	2	109	2,024	22	9	95	15	48	21	5	48	232	7	81	2,375
	%		96.8	58.7	55.7	1.6	1.1	0.1	0.1	3.3	0.3	6.1	7.5	1.5	3.2	0.1	4.6	85.2	0.9	0.4	4.0	0.6	2.0	0.9	0.2	2.0	9.8	0.3	3.4	
萩	2年生	1,871	1,779	1,056	942	37	35	14	28	18	11	138	40	36	42	1	20	1,362	24	4	71	2	102	8	15	28	226	9	154	1,779
	%		95.1	59.4	53.0	2.1	2.0	0.8	1.6	1.0	0.6	7.8	2.2	2.0	2.4	0.1	1.1	76.6	1.3	0.2	4.0	0.1	5.7	0.4	0.8	1.6	12.7	0.5	8.7	
萩	3年生	1,909	1,825	937	872	12	8	0	45	12	4	251	86	39	34	1	73	1,437	16	2	122	3	150	10	3	21	309	12	49	1,825
	%		95.6	51.3	47.8	0.7	0.4	0.0	2.5	0.7	0.2	13.8	4.7	2.1	1.9	0.1	4.0	78.7	0.9	0.1	6.7	0.2	8.2	0.5	0.2	1.2	16.9	0.7	2.7	
萩	2年生	1,946	1,853	1,084	967	35	18	13	51	8	15	124	98	32	57	2	36	1,456	32	9	47	2	30	6	13	58	156	14	186	1,853
	%		95.2	58.5	52.2	1.9	1.0	0.7	2.8	0.4	0.8	6.7	5.3	1.7	3.1	0.1	1.9	78.6	1.7	0.5	2.5	0.1	1.6	0.3	0.7	3.1	8.4	0.8	10.0	
萩	3年生	1,877	1,809	951	880	25	9	1	36	12	8	224	157	28	23	0	91	1,494	25	3	106	3	40	15	9	62	235	13	39	1,809
	%		96.4	52.6	48.6	1.4	0.5	0.1	2.0	0.7	0.4	12.4	8.7	1.5	1.3	0.0	5.0	82.6	1.4	0.2	5.9	0.2	2.2	0.8	0.5	3.4	13.0	0.7	2.2	
萩	2年生	581	568	332	305	3	14	0	10	11	13	38	33	3	14	0	7	451	2	4	30	0	3	2	1	29	65	1	45	568
	%		97.8	58.5	53.7	0.5	2.5	0.0	1.8	1.9	2.3	6.7	5.8	0.5	2.5	0.0	1.2	79.4	0.4	0.7	5.3	0.0	0.5	0.4	0.2	5.1	11.4	0.2	7.9	
萩	3年生	598	594	319	287	4	2	0	26	11	17	58	52	10	9	0	14	490	3	4	42	2	7	4	0	24	79	4	14	594
	%		99.3	53.7	48.3	0.7	0.3	0.0	4.4	1.9	2.9	9.8	8.8	1.7	1.5	0.0	2.4	82.5	0.5	0.7	7.1	0.3	1.2	0.7	0.0	4.0	13.3	0.7	2.4	
計	2年生	10,642	10,217	5,976	5,276	230	288	79	103	128	65	784	420	134	281	9	216	8,013	138	46	280	11	331	43	39	300	1,004	57	959	10,217
	%		96.0	58.5	51.6	2.3	2.8	0.8	1.0	1.3	0.6	7.7	4.1	1.3	2.8	0.1	2.1	78.4	1.4	0.5	2.7	0.1	3.2	0.4	0.4	2.9	9.8	0.6	9.4	
計	3年生	10,464	10,086	5,433	5,017	115	154	35	112	186	45	1,188	680	143	205	13	453	8,346	99	31	470	36	426	63	21	258	1,274	53	283	10,086
	%		96.4	53.9	49.7	1.1	1.5	0.3	1.1	1.8	0.4	11.8	6.7	1.4	2.0	0.1	4.5	82.7	1.0	0.3	4.7	0.4	4.2	0.6	0.2	2.6	12.6	0.5	2.8	

■ 公立高等学校等卒業者の学科別進路状況(全日制課程)

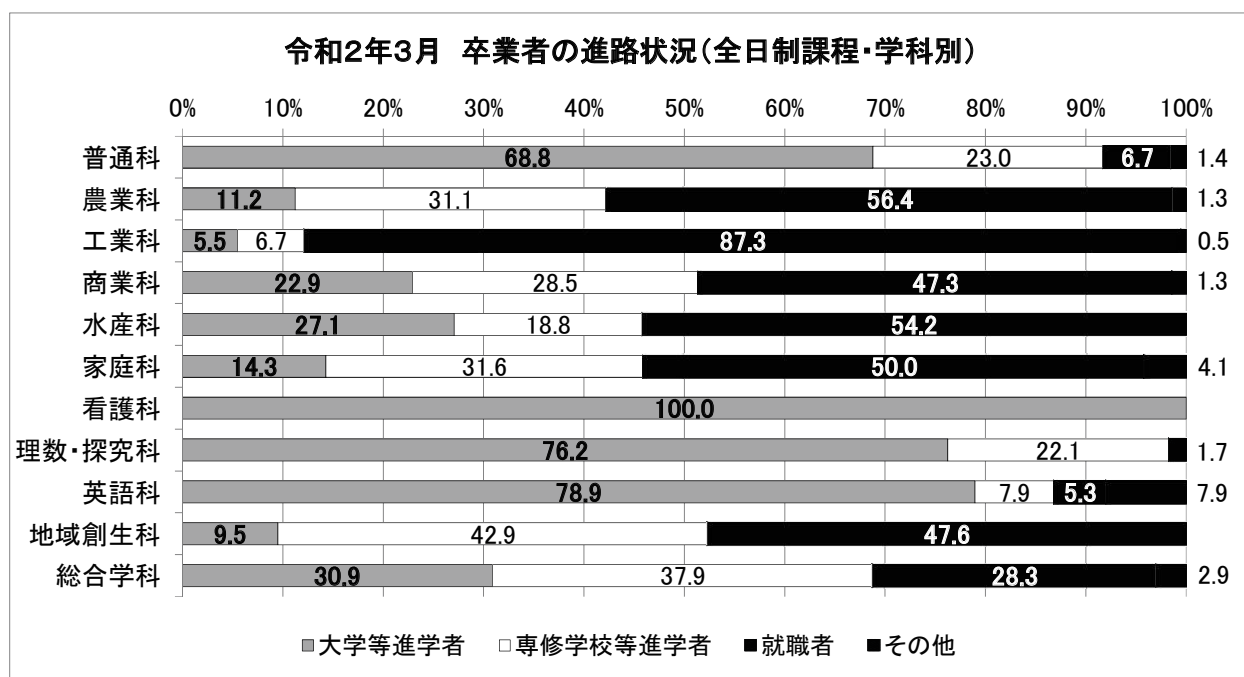
(令和2年3月卒業者)

区分	大学等進学者		専修学校等進学者		就職者		その他		合計 人数
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
普通科	2,787	68.8	933	23.0	273	6.7	58	1.4	4,051
農業科	35	11.2	97	31.1	176	56.4	4	1.3	312
工業科	72	5.5	88	6.7	1,146	87.3	6	0.5	1,312
商業科	207	22.9	257	28.5	427	47.3	12	1.3	903
水産科	13	27.1	9	18.8	26	54.2	0	0.0	48
家庭科	14	14.3	31	31.6	49	50.0	4	4.1	98
看護科	39	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	39
理数・探究科	231	76.2	67	22.1	0	0.0	5	1.7	303
英語科	30	78.9	3	7.9	2	5.3	3	7.9	38
地域創生科	2	9.5	9	42.9	10	47.6	0	0.0	21
総合学科	211	30.9	259	37.9	193	28.3	20	2.9	683
合計	3,641	46.6	1,753	22.5	2,302	29.5	112	1.4	7,808

高校教育課「卒業者等の進路状況調査」から作成

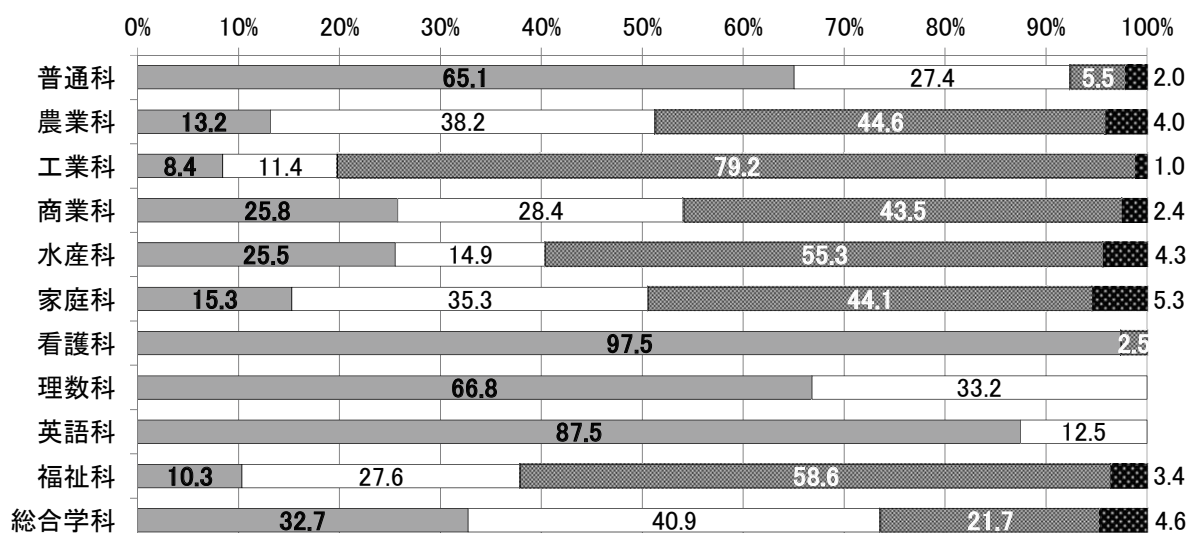
(注)

- 1 「大学等進学者」とは、大学、短期大学、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科へ進学した者(いわゆる現役進学者をいう。また、進学して同時に就職した者を含む。)をいう。
- 2 「専修学校等進学者」とは、専修学校、各種学校(予備校を含む。)及び公共職業訓練施設等への進(入)学(所)した者をいう(これらの学校等へ進(入)学(所)して同時に就職した者を含む。)
- 3 「就職者」には、進(入)学して同時に就職した者は含まない。
- 4 「その他」とは、「一時的な仕事に就いた者」及び進学も就職もしていない者等をいう。



【参考】

平成22年3月 卒業者の進路状況(全日制課程・学科別)



■ 県外流出の状況

【高校教育課調べ】

○ 中学校卒業時点

卒業年月	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
H29.3	345	17	84	88	49	124
H30.3	336	22	94	86	41	115
H31.3	365	29	90	95	31	149
R2.3	379	35	94	102	57	126
R3.3	384	40	93	107	44	140

地域別（R3年度）

地域	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
岩国	95	10	74	5	2	14
柳井	18	1	3	1	1	13
周南	41	5	4	9	6	22
防府	69	3	5	9	15	40
厚狭	24	1	2	9	1	12
下関	101	15	2	69		30
萩	28	3	1	2	19	6
その他	8	2	2	3		3
全県	384	40	93	107	44	140

詳細

目的	勉学	スポーツ	文化	その他	不明	計
人数	130	127	16	108	3	384
計に対する割合	33.9%	33.1%	4.2%	28.1%	0.8%	

○ 小学校卒業時点

卒業年月	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
H29.3	157	37	52	42	2	61
H30.3	175	59	47	51	2	75
H31.3	179	64	70	46		63
R2.3	179	63	67	49		63
R3.3	156	50	56	41	4	55

地域別（R3年度）

地域	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
岩国	50	10	37	3	1	9
柳井	4		3	1		
周南	20	7	11	1	1	7
防府	24	7	2	5	1	16
厚狭	8	2		3		5
下関	37	20	2	25		10
萩	5			2	1	2
その他	8	4	1	1		6
全県	156	50	56	41	4	55

詳細

目的	勉学	スポーツ	文化	その他	不明	計
人数	86	7		62	1	156
計に対する割合	55.1%	4.5%		39.7%	0.6%	

「教育活動の充実・教育環境の充実」に関する参考資料

山口県の生徒指導上の諸問題について

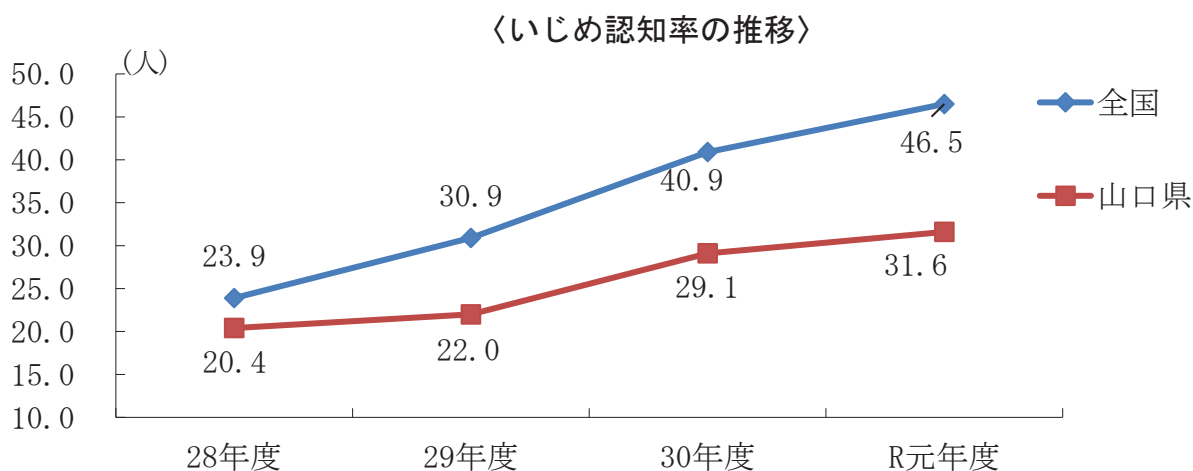
1 現状

(1) いじめ問題について

■ 山口県の高等学校等におけるいじめ認知件数の推移（国公立合計）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
山口県	件数(高等学校)	123	175	226	252
	件数(小中高特)	2,979	3,169	4,116	4,406
	認知率(小中高特)	20.4	22.0	29.1	31.6
全国	認知率	23.9	30.9	40.9	46.5

※ いじめ認知率(児童生徒 1,000 人当たりの認知件数)



(2) 不登校生徒について

■ 山口県の高等学校等における不登校生徒数の推移（国公立合計）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
山口県	不登校生徒数 (人)	262	287	287	310
	不登校出現率 (人)	7.5	8.3	8.5	9.4
全国	不登校出現率 (人)	14.7	15.1	16.3	15.8

※ 不登校出現率(生徒 1,000 人当たりの不登校生徒数)

(3) 中途退学者について

■ 山口県の高等学校等における中途退学者数の推移（国公立合計）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
山口県	中途退学者数 (人)	430	420	550	375
	中途退学者率 (%)	1.1	1.1	1.5	1.0
全国	中途退学者率 (%)	1.4	1.4	1.4	1.3

2 生徒指導上の諸問題に対する主な取組

- 問題行動等の未然防止に向けた開発的・予防的生徒指導の充実
- 「山口県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対策の充実・強化
- 問題行動や不登校等の対策に係る校内体制の整備と校種間の連携強化
- 児童生徒理解の深化及び教育相談体制の充実
- 専門家の派遣等による課題解決に向けた児童生徒、家庭、学校等への支援の充実
- 児童生徒の適切なインターネット利用に向けた対応
- 不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けた支援

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）について

子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の観点からも学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。

加速度を増す社会変化、複雑で予測困難な時代

Society5.0 グローバル化 少子・高齢化 地域社会のつながりの希薄化 等

学校が抱える課題の
複雑化・多様化

教員だけで対応することが
質的・量的に困難

「生きる力」の育成に向けた
教育課程の課題

「生きる力」の理念を現在とこれからの
社会の文脈の中で改めて捉え直す必要

社会総がかりでの教育の実現

学習指導要領改訂の実施

社会総がかりでの教育を実現するために
地域とともにある学校

開かれた学校から一歩踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校」に転換

新しい学習指導要領の理念となる
社会に開かれた教育課程

「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、**連携・協働**しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子ども達に育む「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクールは
地域とともにある学校づくりと社会に開かれた教育課程の実現に
有効なツールです

➡ 中央教育審議会答申（H27.12）
→すべての公立学校において学校運営協議会の設置をめざすべき

➡ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（H29.3）
→協議会の設置について、教育委員会に努力義務を課す

学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる 等



※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長16代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

○ 山口県の高等学校等におけるコミュニティ・スクール導入の成果

・ 学校と地域が情報を共有するようになった	(91.9%)
・ 特色ある学校づくりが進んだ	(90.3%)
・ 地域が学校に協力的になった	(89.8%)
・ 学校に対する保護者や地域の理解が深まった	(85.5%)
・ 学校関係者評価が効果的に行えるようになった	(83.9%)
・ 学校が活性化した	(80.2%)
・ 教職員の意識改革が進んだ	(77.6%)
・ 保護者・地域による学校支援活動が活発になった	(70.4%)
・ 学校の組織力が向上した	(69.0%)
・ 管理職の異動があっても継続的な学校運営がなされた	(68.5%)
・ 生徒の学習意欲が高まった	(66.7%)
・ 校長のリーダーシップが向上した	(66.1%)
・ 教育課程の改善・充実	(65.2%)
・ 子どもの安全・安心な環境が確保された	(62.5%)

令和2年度高等学校等管理職アンケートより（抜粋）

○ 全国のコミュニティ・スクール及び地域学校協働本部の学校種別の内訳

	コミュニティ・スクール				地域学校協働本部			
	導入校数	増加数 (前年度比)		導入率	整備校数	増加数 (前年度比)		整備率
幼稚園	237	40	園増	7.8%	500	128	園増	16.5%
小学校	5,884	1,266	校増	31.0%	11,777	1,934	校増	62.0%
中学校	2,721	622	校増	29.5%	5,206	707	校増	56.5%
義務教育学校	76	26	校増	62.8%	83	35	校増	68.6%
高等学校	668	161	校増	18.9%	386	227	校増	10.9%
中等教育学校	3	0	校増	9.1%	2	1	校増	6.1%
特別支援学校	199	72	校増	18.3%	176	111	校増	16.2%
合計	9,788	2,187	校増	27.2%	18,130	3,143	校増	50.3%

文部科学省コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査

（令和2年7月1日現在（地域学校協働本部は年度内の予定を含む））より

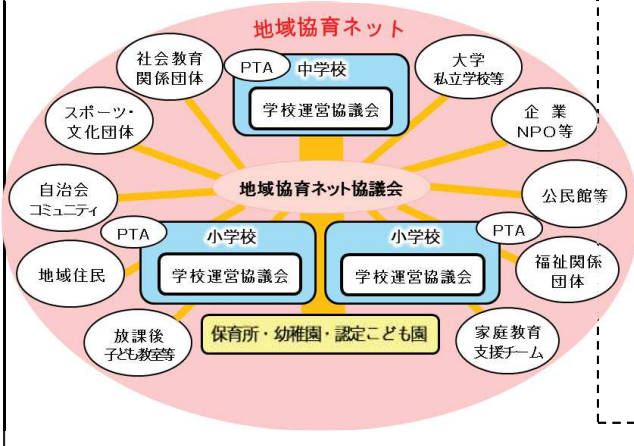
○小・中・高等学校等の各段階を通じて、全県的な規模で、学校と家庭・地域の連携・協働による取組を推進

～ 地域の活性化や地域課題の解決に向けた拠点としての
コミュニティ・スクールの機能の一層の充実 ～

山口県の地域連携教育

「やまぐち型地域連携教育」の推進

小・中学校



コミュニティ・スクールを核とし、**地域協育ネット**の仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する取組を推進

○子どもたちの**自己肯定感の高まり**、**郷土愛**や**地域貢献・社会貢献の意識の高まり**等

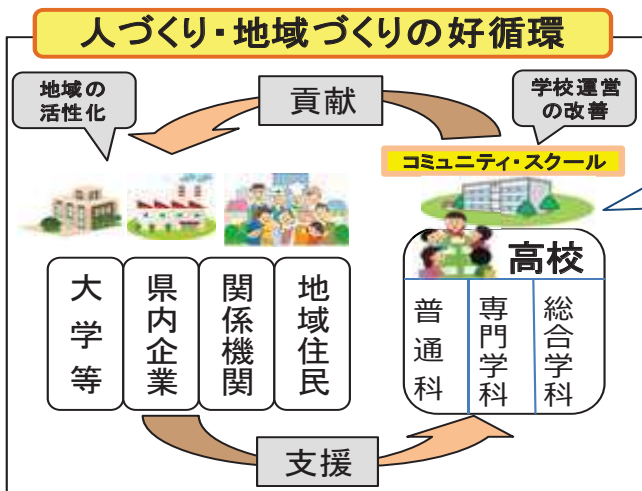
学びの連続性

専門性の発揮

校種間連携による
地域学校協働活動

「テーマ型コミュニティ・スクール」の推進

高等学校



◎学校・学科の特色や専門性に
応じた、**高校ならではの取組**
の推進

地域の活性化に
貢献する活動

【具体的取組例】

- 地元企業等と連携した特産品開発やインターンシップ
- 地元自治体へのまちづくりに関する提案
- 大学との連携による地域の環境保全に向けた探究的な学習

特別支援学校

地域資源を生かした子どもたちの**豊かな学び**を実現
～ **郷土を愛する心**や**地域の担い手としての意識**の育成 ～

地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの推進

本県の将来を担う人材の育成

人口定住・地方創生の実現

やまぐちスマートスクール構想の推進について

取組の方向性

令和2年度に整備したICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進を、「やまぐちデジタル改革基本方針」の重点プロジェクトの一つに掲げ、教育庁各課室が連携して、3つの視点の学校づくりに向けた取組を総合的・計画的に推進している。

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や多様な意見に触れる協働学習を充実させ、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現をめざす。

● 1人1台タブレット端末等を活用した主体的な学びを実践！

これまでの教育実践と、1人1台タブレット端末等の先端技術とのベストミックスにより、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

● 統合型校務支援システムの導入100%！

全ての高等学校等に統合型校務支援システムを導入し、児童生徒の状況を把握した個別最適な指導を実施

● 全児童生徒へ一元化した情報配信！

児童生徒用の共通ポータルサイト等を活用し、山口県の多様な情報をダイレクトに配信（県内大学情報、県内企業就職情報 等）

● 即戦力となるデジタル人材を育成！

高等学校等を対象としたICTコンテストの開催やAIの基礎知識に関する検定の合格をめざして、高校生データサイエンティストを育成

● 特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を引き出すICT！

総合支援学校の児童生徒一人ひとりのニーズに応じて端末をカスタマイズ

● 教職員支援機構(NITS)と連携してICT活用推進リーダーを育成！

NITS山口大学センターと連携して、ICT活用推進のマネジメント力や指導助言力を身につけた教職員リーダーを育成

※NITS…独立行政法人教職員支援機構の略称

教員の資質・能力の向上を目的に、地方公共団体や大学等と連携を図りつつ、教職員研修や研修に対する指導・助言を行うなど、教職員に対する総合的な支援を実施
中国・九州北部地域の拠点となる地域センターを山口大学に設置

2 海外・地域・他校とつながる学校！

海外の学校や遠隔地の学校等との交流を行うことで、新たな学びの機会を創出し、「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざす。

● 海外とのオンライン交流100%！

全ての高等学校等で海外とのオンライン交流を実施

● 全県合同のハイレベル課外授業を実施！

選抜性の高い大学をめざす生徒（希望者）を対象とした全県合同課外授業を実施

● 資格取得のためのオンライン講座を実施！

高等学校等で資格取得（危険物取扱者、測量士補、簿記等）に必要なオンライン講座を実施

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障する環境を充実させ、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！」の実現をめざす。

● 通学できない児童生徒向けオンライン授業100%！

全ての高等学校等で障害や入院等で通学できない児童生徒（希望者）にオンライン授業を実施する体制を整備

● オンライン教育相談体制を整備！

児童生徒を対象にした不登校等に関するオンライン相談・カウンセリング体制を整備

県立学校のICT環境整備等

- ・全ての県立学校に1人1台タブレット端末を整備
- ・校内ネットワークの高速化及び全ての普通教室と一部特別教室、職員室、体育館等に無線LANアクセスポイントを設置
- ・全ての普通教室と一部特別教室に大型提示装置（電子黒板、プロジェクタ）、学校が希望する教室に実物投影機を整備
- ・家庭に通信環境が整っていない児童生徒のための貸出用モバイルルーターを整備
- ・障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障するため、分身ロボット「OriHime」を導入
- ・高等学校等の全生徒及び特別支援学校高等部の希望者にオンライン学習支援サービス（スタディサプリ）を導入（～R4.3）
- ・教員のICTの日常使いを支援するICT支援員を県立学校に派遣

山口県特別支援教育推進計画（2018年度～2022年度、高等学校関係抜粋）

高等学校等における特別支援教育の充実

- ・ 校内委員会の活性化や校内コーディネーターの専門性向上、教職員の特別支援教育への理解促進による全校による指導や支援体制の整備。
- ・ 特別な教育的支援を必要とする生徒への「通級による指導」をはじめとした適切な指導の充実
- ・ 特別支援教育センター等と連携し、ICT機器を活用した「分かりやすい授業づくり」など、指導方法の工夫・改善及び関係機関等と連携した進路指導の取組を推進。

（１）全校体制による指導・支援の充実

- 全ての教職員の発達障害等への理解の促進とともに、全校体制による指導や支援の充実に取り組みます。
- 特別支援教育支援員を継続的・効果的に配置し、きめ細かな相談支援体制の整備を進めます。

（２）特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援の充実

- 発達障害等のある生徒が、もてる力を十分に発揮できるよう、「個別の指導計画」を適切に作成していくとともに、発問や指示が理解しやすい、活動の見通しがもちやすいなど、障害特性に応じた分かりやすい授業や、安心して過ごしやすい教育環境等に関する実践研究により得られた成果を県立高等学校等へ普及します。

（３）「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」の作成と活用

- 校長がリーダーシップをこれまで以上に発揮し、障害のある生徒への、校内の指導や支援体制の整備とともに、中学校との連携を一層強化するなど、切れ目のない特別支援教育の充実に、引き続き努めます。

（４）通級による指導の充実

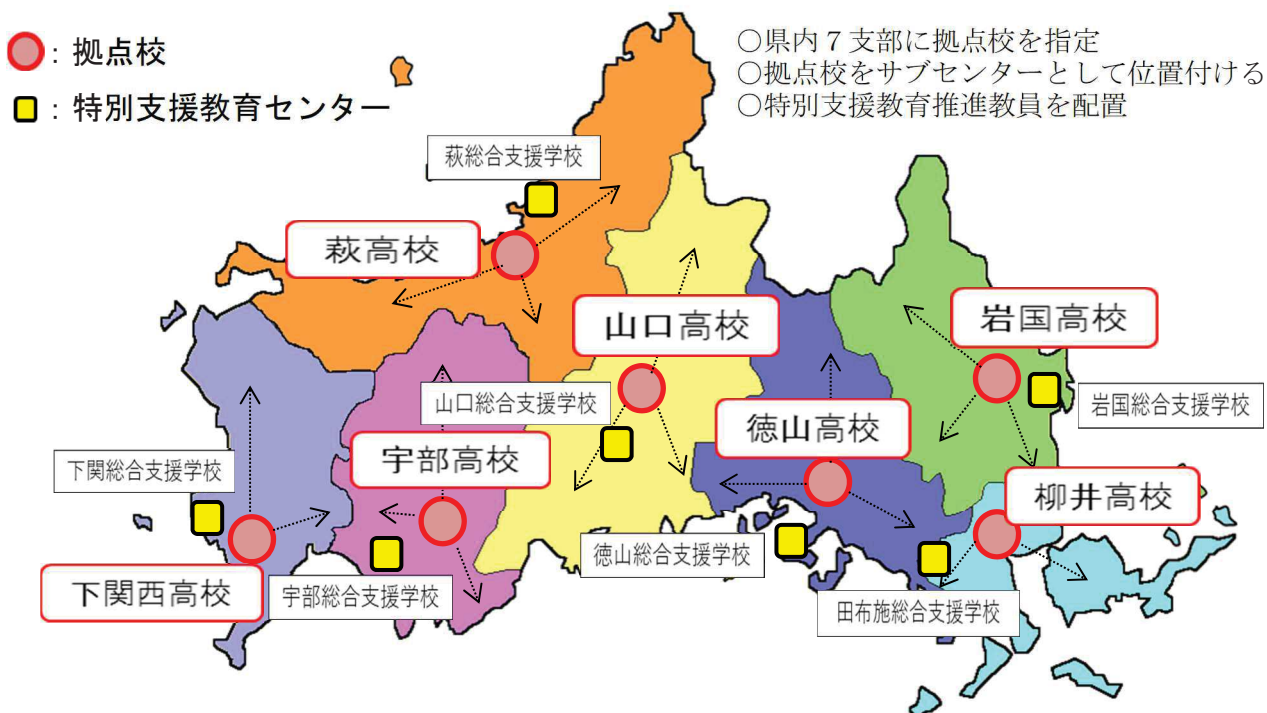
- 特別な教育的支援を必要とする生徒への通級による指導をはじめとした高等学校等における特別支援教育を推進します。
 - ・ 2017（平成29）年度からの研究の成果と課題を踏まえ、通級による指導を必要とする全ての高等学校等において指導が可能となるよう検討を進めます。
 - ・ 7支部7校の高等学校を、地域の特別支援教育推進の中心となる学校として位置付け、特別支援教育センターを設置する総合支援学校、ふれあい教育センター等と連携し、通級による指導をはじめとした地域の高等学校等への支援体制の整備を進めます。
 - ・ 高等学校等における通級による指導ガイドブックの作成・活用による担当者の専門性向上、指導や支援の充実を図ります。

【主な取組（重点プログラム）】

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
高等学校等における特別支援教育の推進	拠点校を中心とした相談支援	→			
	通級による指導制度の導入・実施に向けた実践研究	→	高等学校等における通級による指導の充実	→	
	通級による指導ガイドブックの作成・配布	→	成果普及	→	

令和3年度 県立高等学校等における「通級による指導」実施について

- 実践研究校（徳山高校、山口高校、宇部西高校）による実践成果の普及
- 『「通級による指導」ガイドブック』の活用による理解の深化
- 7支部7校の拠点校を特別支援教育サブセンターとする、高等学校等における特別支援教育の推進
- 特別支援教育推進教員の配置
- 拠点校と特別支援教育センターを配置する総合支援学校等との連携強化による地域の相談支援体制の整備



【山口県立高等学校等における特別支援教育の推進のための基本事項】

- 1 本県では、県内7支部の7校（岩国、柳井、徳山、山口、宇部、下関西、萩）を地域の特別支援教育推進の中心となる拠点校として位置付けるとともに、拠点校が特別支援教育のサブセンターとしての役割を担いながら、地域の高等学校等における特別支援教育の充実を図る。
- 2 拠点校等に特別支援教育推進教員を配置し、要請に応じて、地域の県立高等学校及び県立中等教育学校の後期課程（以下「県立高等学校等」とする。）を巡回し、相談支援等を行う。
- 3 拠点校はサブセンター校として、特別支援教育センターを配置する総合支援学校と連携して地域の高等学校等の相談等に対応する。
- 4 すべての県立高等学校等で「通級による指導」が実施できる校内体制を構築する。
- 5 「通級による指導」を実施する場合は、原則として、別に示す「実施要綱」の通りとする。

山口県立学校施設長寿命化計画の概要

1 背景・目的等

- 学校施設は昭和40年代から50年代にかけて整備された建物が多数を占め、今後10年間で一斉に更新時期を迎える
- 厳しい財政状況の中、今後の施設整備費の抑制・平準化を実現しながら学校施設に求められる機能を確保する
- 中長期的な維持管理等に係るトータルコスト縮減と予算の平準化を図るための整備方針を示す

【位置付け】

- 「山口県公共施設等マネジメント基本方針」において策定するものとされた県立学校の施設整備の方針
- 文部科学省は「インフラ長寿命化計画」を策定し、各地方公共団体に対して令和2年度末までに「学校施設の長寿命化計画」（個別施設計画）を策定するよう要請

【対象施設】

- 県が所管する中学校・中等教育学校・高等学校・総合支援学校

【計画期間】

- 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

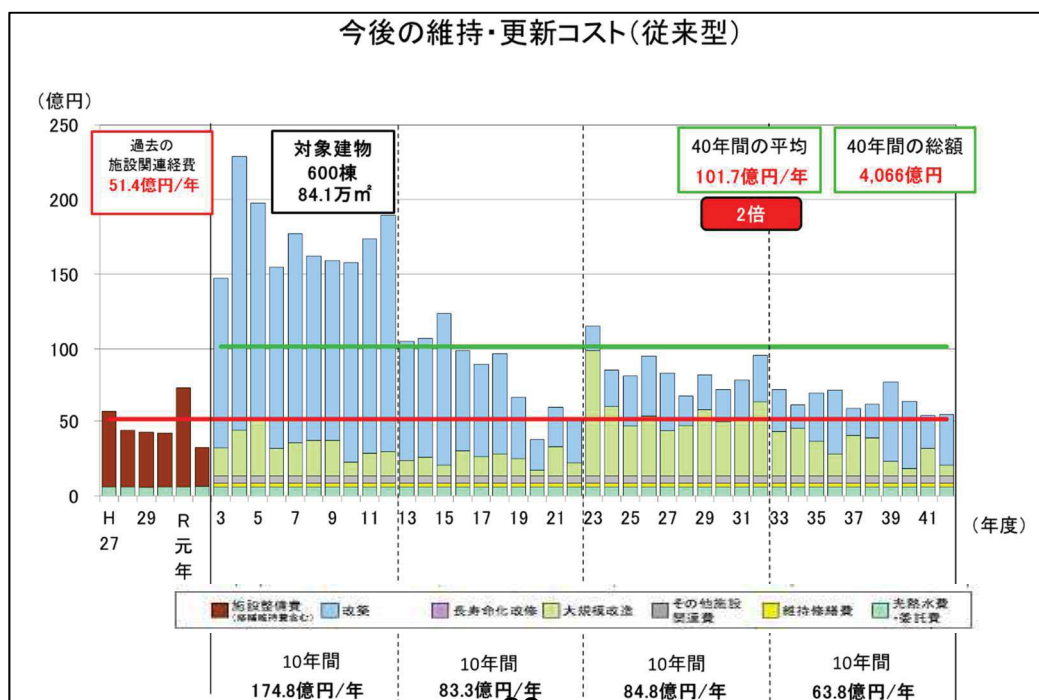
2 学校施設の実態

【学校施設の整備状況】

- 対象建物 600棟 84.1万㎡
- 築30年以上 470棟（78%）うち築50年以上 136棟（23%）

【今後の維持更新コスト試算（従来型）】

- 築50年を目途に建替えた場合は今後40年で4,066億円



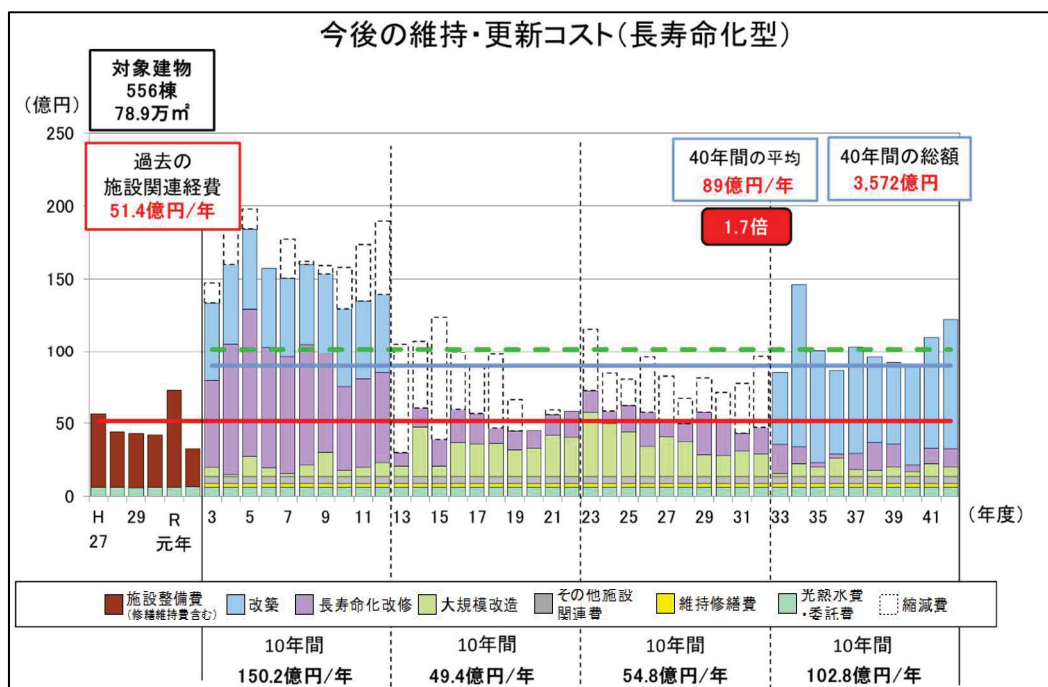
3 整備方針

(1) 建物の長期使用と長寿命化改修

- 適切なタイミングで改修（築20年で中規模改修、築40年で大規模改修）を行い、建物の目標使用年数を80年とする

【今後の維持更新コスト試算（長寿命化型）】

- 今後40年間で3,572億円（△494億円）



(2) 生徒数に応じた施設数や建物規模

【高等学校】

- 生徒数の減少が続く見込みであり、適正な施設数や規模を検討

【総合支援学校】

- 引き続き教室不足解消に向けた整備に取り組む

4 今後の整備計画（令和3年度～令和12年度）

(1) 改築

- 築50年を超える校舎等を多く保有する学校を整備対象校として検討

(2) 長寿命化改修

- 基本的に築年数を基準として優先度を検討

5 計画の継続的運用方針

(1) 推進体制の整備と情報の活用

- 学校、営繕部局と連携した整備を推進
- 施設の定期的な点検・診断を着実に実施

(2) 県立高校将来構想を踏まえた計画の見直し

- 今後15年間で中学校卒業見込者数はさらに約3,000人減少する見込み

⇒ 今後策定する「県立高校将来構想」を踏まえ、適正な施設数、建物規模を検討

教職員の人材育成に向けた基本方針について

本県教育を担う教職員の育成に向けて、学校、市町教育委員会、県教育委員会が共有すべき方針を「人材育成に向けた5つの基本方針」として示します。

この基本方針に基づき、教職員の養成・採用、評価、研修、人事制度等人材育成に関する総合的な取組である人材育成システムを活用し、学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって教職員の人材育成に取り組みます。

人材育成に向けた5つの基本方針

- 1 教職員のキャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図ります。
- 2 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて資質能力の向上を図ります。
- 3 組織的な学校運営を推進し、教職員の資質能力の向上を図ります。
- 4 地域や関係機関等と連携し、地域や学校の中核として活動する教職員を育成します。
- 5 大学等と連携し、優秀な教職員の養成・確保に努めます。

